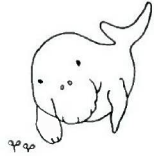

ジュゴン Vol.72

ちゃんぷるニュース

 SDCC 2014. 1. 28
Save the Dugong Campaign Center

CONTENTS



- 2/3 名護市長選勝利の意義
- 4/5 市長選の様子
- 県庁前の座り込み
- 承認を巡る県交渉
- 6/7 現地からのお知らせ
- じゅごん茶話会やってます！
- おきなわ便り

新年に祈る

2014年。新春のお喜びを申し上げます。昨年は大変お世話になり、有り難うございました。お蔭さまで混乱昏迷を深めている日本の世直しに向け、小さな一歩を踏み出せたように思います。

その一歩とは、政府による沖縄差別に抗して沖縄独立を叫ぶ前に、むしろ倭国の時代に行われたヒミコによる「世直し」と同様の運動を展開する時代が、再び到来したと考えての意味です。勿論、ヒミコが大乱後の倭国を宗教的に正したように、「世直し」の主人公はジュゴンとすることになります。

この海神であり龍宮神であるジュゴンを護り、祀り崇拜することの大切さを日本国民に広く知らしめなければなりません。何故なら自民党総裁安倍晋三が国家を愛する国民を育てるために教えようとしている皇統の歴史は、初代天皇が「神武」となっているからです。そして、その神武天皇誕生神話によると、神武は海神の姉妹から生まれたことになっているからです。即ち「神武天皇」はサメ即ちジュゴンから生まれたと言うのですから、安倍晋三の言う国を愛する日本国民は、天皇を始め、すべからく辺野古の海のジュゴンを皇祖と祀り、保護に努めなければならないということになります。

しかし安倍自民党はそうはしません。何故ならジュゴンの存在によって皇統の歴史が非科学的な嘘で出来ている、そのことが立ち所に暴かれてしまうからでしょう。言わば辺野古埋立て承認問題は、美しい国日本にとって開けてはならないパンドラの箱を開けたことになります。

そのようなことを考えながら、元日は家族揃って未明のうちに平安座島に行き、初日の出を拝しました。快晴無風の輝く海に昇った太陽は呪縛を突き破り、素晴らしい時代の到来を告げて見えました。その時、「自民党はこれで消滅するかも知れない」と思いました。その後、みんなで龍宮神の祠に行き、SDCCの今年の活躍を「見守って下さい」と祈願しました。必ずや名護市長選も勝利すると信じつつ…。新年に祈る

海勢頭豊（うみせど ゆたか：SDCC 共同代表）

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] info@sdcc.jp



情勢

「辺野古移設反対が民意～名護市長選挙」

1) 4155票の大差～市民の誇りをかけて

稲嶺ススム市長が19839票で再選された。投票率76.71%と前回は下回ったものの(有権者は1769人増)、前回得票差1588票を大幅に上回りました。「すべては子どもの未来のために。新たな基地はいらない」「沖縄の誇りをかけて。オール沖縄を再びつくりたい」の名護市民の思いが勝利の要因です。6万1千人の貧しい町に、現職大臣や与党幹事長、沖縄県知事が次々と入り、企業ぐるみ選挙を要求する。パチンコ店などに停まっている車に謀略ビラを差し込み、金をばらまく。この異常な選挙に名護市民は勝利しました。

2) 争点は市長権限と再編交付金

政府自民党は「知事が承認したから、基地押しつけ再編交付金で町おこしを」と市民の諦めを票にする戦略でした。稲嶺陣営は「埋め立てヤードの作業場や漁港などの使用は市長の許可がなければ埋め立ては進まない」と反論。「基地押しつけ再編交付金は麻薬、次の基地を欲しがることになる。第6次産業(注)で自立する地域をつくり、財政健全化を進めよう」と名護市民の良識に訴えました。公明党の動きも焦点でした。公明党県連は自主投票を決定しましたが、中央が承認をせずに引き伸ばしたのは自民党中央の強い圧力があつたからです。しかし、県外移設を求める沖縄の県民世論や今年9月の沖縄統一地方選挙を前に自主投票を黙認せざるを得ませんでした。

3) SDCCはススム会活動を担った

ススム会(勝手連)は街頭での手振り、自転車宣伝、ビラ入れ、投票に行こう活動、不正投票監視団活動など多様な取り組みをしました。不正投票監視団は弁護団と連携して、統一連(共産党系)の協力を得ながら、期日前投票6日間を、のべ100人で取り組みました。企業が従業員を投票に駆り出す押しつけ投票は鳴りを潜めました。それにひきかえ、若い子ども連れの母親が勤務帰りの投票、青年層が固まってる投票。期日前投票所の場所を知らない人が目立つなど、新たな層が期日前投票(有権者の34%)に参加しました。不正投票監視団は稲嶺勝利に貢献したと思います。また、稲嶺市政を支持し、埋め立てを阻止する闘いを担っていきます。

(注)第6次産業:農業など1次産業に食品加工(2次産業)、流通・販売(3次産業)を取り込んだもの。



県交渉

埋立て承認…専門家の意見を軽視

名護市長選挙の翌日の1月20日、沖縄防衛局の埋立申請承認について沖縄県交渉しました。県民の6割は知事の承認を支持していません。環境生活部長意見にあるように環境保全について懸念があるからです。「現段階で取り得る措置等が講じられており、基準に適合している」とする知事承認は、専門家の助言を受けずに承認したことが明らかになりました。また、海勢頭代表は「現段階で取り得る措置とは将来への無責任さだ」と批判しました。

沖縄県が「承認書の留意事項」で実施設計や環境保全対策について求めている「協議」について決定権者は誰なのかを確認しました。沖縄県に提出された工事資料を沖縄県がチェックし、環境保全措置が十分でないなら工事はできないと明言しました。外来生物種アルゼンチンアリの侵入対策も同様です。

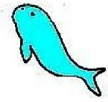
そこで、私たちは「協議内容の迅速な公開」や、

「専門家の助言」を求めましたが、迅速な公開については約束しました。また、沖縄県が沖縄防衛局に出した質問書と回答全文を1月24日に開示すること明らかにしました。ウェブサイトでの公開は検討するとなりました。これで、沖縄県の承認の実態が明らかになり、埋め立ての差し止め訴訟の証拠にもなると思います。(事務局 蛭川義章)



解説

「島の埋め立て承認に抗議する」



＜結論が先にありき＞

仲井真沖縄県知事は12月27日に、普天間飛行場代替施設建設事業に係る公有水面埋め立て承認申請書を「現段階で取り得ると考えられる環境保全措置等が講じられており、基準に適合している」と承認しました。しかし、沖縄県環境生活部長意見(平成25年11月29日)では「承認申請書に示された環境保全措置等では不明な点があり、事業実施区域周辺域の生活環境及び自然環境の保全についての懸念が払拭できない」としているように、「基準に適合している」と言えるものではありません。公有水面埋立法第4条(免許の基準)第1項各号の基準は「最小限度のものであり…、慎重に審査を行うこと」(実務便覧 p214)との規定に反します。仲井真知事にとって「『承認』の結論が先にありき」だったのです。

＜公約違反と県民批判＞

仲井真知事は「公約に違反していない」「辺野古移設に反対とは言わなかった」と居直っています。1月9日緊急に開かれた県議会で、野党議員の追及の前に「辺野古に代替施設が完成すれば、かなりの(基地)機能が戻ってくる」と知事が言う「県外移設」は暫定的なものであることを認めました。沖縄県民は「知事の公約違反」72.4%(琉球新報、沖縄テレビ世論調査12/28,29)をすでに見抜いています。

反撃は始まっています。那覇市議会での埋め立て承認への抗議決議(1月6日)や、沖縄県議会での知事の公約違反への抗議と辞職要求決議(1月10日)が採択されました。ノーム・チョムスキー(言語学者)、オリバー・ストーン(映画監督)、マイケル・ムーア(映画監督)ら海外29人の声明(1月9日)では「人間と環境を犠牲にして沖縄の軍事植民地状態を拡大する」と沖縄県民の闘いを支持し、辺野古移設反対と普天間の即時・無条件返還を訴えています。

＜国内外の闘いをむすんで＞

1月15日、沖縄県の辺野古埋め立て承認が公有水面埋立法第4条違反であり、承認を取り消すこと、効力の一時停止を求めて提訴しました。また、3月予定のボーリング調査を中止に追い込むために、米国でのジュゴン訴訟を再開する準備に入りました。侵略的外来種アルゼンチンアリ混入の恐れがある埋め立て土砂の使用問題などについてIUCN(国際自然保護連合)に支援を求めています(1月9日)。何はともあれ、名護市長選挙の勝利が安倍内閣にNOを突きつけ、辺野古移設にかかわる工事を大きく制約することになります。



アルゼンチンアリ

埋め立て土砂に交じって、沖縄へGO!だ



ダメ!

アルゼンチンアリ 南米原産のアルゼンチンアリは、世界各国に分布を広げ、日本では1990年代に中国地方で発見され、その後各地で定着しつつあります。繁殖力が強く、他のアリを駆逐するため、生態系への影響が懸念されます。また、かんきつ類、サトウキビへの農業被害も報告されています。沖縄へ侵入・定着すれば、シークワサーやサトウキビ農家への影響が危惧されます。環境省は移入を防ぐためのガイドラインを出しています。→「アルゼンチンアリ防除の手引き」<http://p.tl/5-PK>

署名提出

11月29日、環境省、防衛省と交渉を持ち、「辺野古・大浦湾の埋め立て反対、ジュゴンの保護区を」求める署名12398筆を安倍首相に提出しました。この6年間で累計76361筆を提出しました。皆様のご協力に感謝いたします。



交渉の様子(環境省)



署名提出

「名護市長選挙を取り組んで」

16日から名護入し「3日攻防」といわれる投票までの最後の3日間、ススム会（勝手連）のお手伝いをしました。午前、午後に「自転車隊」で市内を回りました。ブルーの「ススムジャンパー」を着て、手を振りながら大きな声で挨拶をしながら、「投票に行きましょう！」と声をかけました。クラクションを鳴らしてくれる方、手を振ってくれる方など反応がありとても良かったです。

また事務所に戻ってからは、ジュゴン折り紙をひたすら折りました。保育園やイベントで「投票に行きましょう」と呼びかけるグッズとして大好評です。

事務所は、全国各地から「お手伝いしたい」と駆けつけてきた方々で熱気あふれていました。この力が稲嶺市長再選の原動力の一つになったと確信しています。

（首都圏 三村昭彦）



SDCCスタッフも、ジュゴンパワーで応援しました！



おめでとう！ 名護市長選、

稲嶺さん勝利！

「投票率をあげよう！選挙に行こうキャンペーン♪」

投票日の前日、名護はとっても寒かった!!北風に負けじと地域主催のふれあい祭りフリーマーケットに参加しました。小さな子ども連れが多かったので、ジュゴン折り紙を配り PR、この日の折り紙には「明日は投票日」と書き込みがしてあります。「もう期日前行ってきたよ～」とか、「ススムに入れたよ」など声をかけてくれるお客さんがいました。

公共の場所なのでどちらの応援とは明示しないものの、ブルーのTシャツでジュゴングッズを売ってれば…一目瞭然?!お祭りの最中何度もブルーカラーの長〜い道ジュネが通ります。夕方5時半頃あとをついて行くと、国道の交差点にブルーの群衆が溢れているではないか!!すごい。ちょうど最後の集会が行われているところでした。ススム市長の「今日は寒い中ご苦労様でした。明日はあたたかい心で、あたたかい名護の未来に向けて勝利したい!!」という演説に大きな拍手と歓声があがりました。（沖縄 佐渡山裕美）

「ススムさん支援に参加して」

1月9日から13日朝まで、稲嶺ススムさんの支援で名護に行きました。

成人式ではジュゴン帽子を被って、「新成人おめでとう。みなさんと子供たちのための選挙です。選挙に行つてね」とジュゴン折り紙を配りながら訴えました。「ありがとー！わかってるよー」と返してくれる人も。手振りでも、クラクションで返してくれる人は日に日に増えて行きました。

手振りで目があった時、車のなかから、厳しい目で睨み返してくる方もいました。「お前らに何がわかる。仕方がないんだよ」と言っているようでした。胸が痛かった。

選挙は稲嶺さんの圧勝。厳しい経済的現実と締めつけの中で、未来を拓く勇氣ある選択をした名護市民に、心から敬意を表します。

（関西 松島洋介）



県庁ロビーをオキュパイした県民の怒りは、稲嶺選挙に結集した

仲井真知事が辺野古埋め立てを承認した12月27日の県庁前行動には、25日県庁包囲行動を上回る2000名の県民が結集した。「午前9時過ぎに埋立承認書類に知事公印が押され、沖縄防衛局に発送された」との号外が出る中で開催された集会では、「公約をかなぐり捨て、県民を裏切り、県民の命と環境を売り渡し『これでいい正月が迎えられる』と嘯く知事は最早県民の代表とは言えない。即刻辞任を要求する」との発言が相次いだ。野党県議団からは、臨時議会の開催を求めているとの報告もなされ、これが1月10日の辞任要求決議へと結びついた。

ヘリ基地反対協の安次富浩さんからは「新基地の建設を自らの手で導いた知事は歴史上仲井真が初めてだ。歴史に残る悪党と言える」、「17年間闘い続け、沖縄全体の闘いへと押し上げてきた我々の闘いはこんなことでへこたれない。新たなステージに立っての闘いを進めていく。『海にも陸にも基地は造らせない』と頑張っている稲嶺ススム市長の再選をはたし、名護市民の心意気を県知事、日米両政府へ突き付けていき

たい」との強い決意が語られた。集会終了後も怒りに満ちた県民は県庁1階ロビーをオキュパイする形で座り込んだ。知事への面談と県民への説明を求めていることだ。だが、なんと知事は県庁舎内から逃げ出していた。この県庁ロビーの占拠座り込みは、1月19日名護市長選挙の大きな弾みになったことに間違いはない。

(沖縄県在住 高垣)



首相官邸前・防衛省前での抗議行動に参加して

東京では、辺野古実（辺野古への新基地建設を許さない実行委員会の略称）を中心に活動があります。辺野古実は、39の市民団体が構成された実行委員会で、SDCCもメンバーの一人です。毎月、銀座や新宿で、オスプレイや辺野古、高江などの問題を、道行く人に語り、防衛省前で定期的に抗議行動をし、その他に学習会やデモ、政府交渉など多岐にわたる活動をしています。

昨年末、辺野古の埋め立て申請の承認か不承認かで、知事判断が迫ったころには、辺野古実、首相官邸前や防衛省前で抗議行動を展開。寒風吹きすさぶ中での連日の厳しい行動でしたが、毎回多くの方が集結していました。県知事が政府に屈服して「承認」会見したその日からは、政府に対して怒りの抗議行動を行い、民意を裏切った知事への抗議が展開され続けています。首都圏の会員さん！「辺野古に基地ではなく、ジュゴン保護区を！」と、一緒に声を挙げましょう！（首都圏 宮城韶子）

東京



大阪

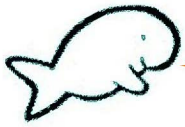


本土からも熱いエール☆

民意は埋立不承認！ 新年の街頭活動

1月12日、大阪では今年最初の街頭署名活動を行いました。年末には県外移設を謳った知事の埋立承認に騒然となった後の初行動でもありません。本土のメディアでは、県外移設を掲げた県選出自民党国会議員の党本部による恫喝への屈服と、県知事の承認の事態のみを伝え、これらを支持しない県民世論を伝える姿勢が薄く、私たちは街頭に地元紙の世論調査結果（知事の公約違反 72%、普天間基地の無条件撤去・県外移設 74%）などの紙面を貼り、為政者が県民の民意を踏みにじている状況を伝えつつ、署名の呼びかけを行いました。

寒風の中、決して人通りは多くはありませんが、署名に協力して下さる方々が絶えませんでした。チラシを受け取って通り過ぎた後、引き返して来て署名して下さる方、「俺ちょっと署名していく。お前らもやっつけていけよ」と友人に声を掛けて下さる方など、僅かとは言え、辺野古への問題意識も広がりつつあるのかなと、少し明るい未来を思わせる初行動でした。（関西 海勢頭聖）



おきなわ便り

☆ホットコーヒーと桜☆

国際通りのマクドナルドでアップルパイを注文した。

ホットコーヒーも飲みたかったが、お茶を買ったばかりだったので節約。

一人用の席で、アップルパイを食べた。

「なんでコーヒーないね〜」突然、隣席の綺麗でお洒落なオーバーがコーヒー無料券をくれた。

「ありがとうございます。飲み物は持っているので、大丈夫ですよ」と返答する。

「寒い日はコーヒー飲んで温まらないとだめよ〜」と言われ、お言葉に甘えホットコーヒーを注文。

飲みながら、オーバーがいろいろと教えてくれた。

「毛布に毛糸の敷物を敷くと温かくて朝までぐっすり寝れるよ」「たんかん（沖縄のみかん）は北部よりも公設市場のほうが安いよ」話題がどんどん広がり尽きなかった。

帰り道、お気に入りの桜木がある公園を通ると、1月中旬なのに桜が咲いていた！

沖縄だよりに桜の記事を書こうと思っていたのでラッキーと写真を撮る。

しかし、ホットコーヒーの心も身も温まった話を伝えたく、桜は写真のみ掲載としよう。

2月は花が満開になっている頃だろう。

(沖縄 仲村)



現地から 名・護 ナ・ゴ

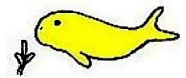
3月に花あられる
名護東海岸へ行こう！

フラワーフェスティバル2014のご案内

国交省が認定する街道を通じた地域づくりの取り組み、日本風景街道に2011年「やんばる風景花街道」が新たに加わりました。その動きを契機に2013年に二見以北10区が連携し、地域のチャレンジと花をテーマにした地域博覧会「フラワーフェスティバル2013」が開催されました。

今年度は久辺3区が新たに加わり名護東海岸13区にエリアが拡大。「花づくり・人づくり・地域づくり」をテーマに区長さんを中心に準備をすすめています。昨年大好評だった一般の方のお庭を開放する「オープンガーデン」を今年も期間中開催します。

美味しいもの、楽しい体験プログラムがわんさか。観光地化されずのどかな風景が残る東海岸エリアの魅力をたっぷり楽しめる企画となっています。わんさか大浦パークのブログや店頭にてイベント開催情報等発信していきます。ぜひ期間中に遊びにいらして下さい。



期間：
2014年3月1日（土）
～3月23日（日）

主催：
やんばる風景花街道フラワーフェスティバル2014 実行委員会

お問い合わせ先：
わんさか大浦パーク 0980-51-9446 (担当：大城)
<http://wansaka.ti-da.net/>
<https://www.facebook.com/FlowerFestival.Yanbaru>

(名護市地域づくりコーディネーター 深田友樹英)



嘉陽からの初日の出 (写真：わんさか大浦パーク)

今年を秘密保護法廃止の年に

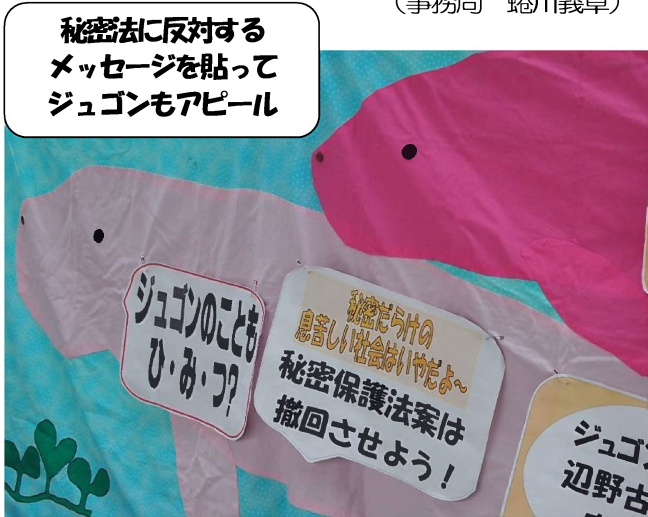
昨年末、自民、公明両党の強行採決で秘密保護法が制定されました。年内の施行に向けて安倍内閣は、特定秘密を扱う公務員や民間人の適性評価対象者が十万人規模になるとの見通しを示しました。秘密指定が曖昧なままで、しかも、適性評価は本人のみならず、家族も調査されるため職場、地域での生活が分断されて、民主主義運動が潰されることにつながります。

昨年末に結成された「秘密保護法」廃止へ！実行委員会（新聞労連、平和フォーラムなど5団体）は国会開会日（予定）の1月24日に国会大包囲を準備しています。また、請願署名も始めました（第1次締切3月末）。請願事項は①秘密保護法廃止を②憲法と国際人権規約に基づき知る権利を保障する情報公開制度の改正を、の2点です。秘密保護法に反対する全国ネットワークも呼びかけられています。



大阪では1月6日を皮切りに毎月6日行動を、16日実行委員会の活動を始めました。廃止に向けて署名活動や集会など各地の行動に参加しましょう。

（事務局 蝮川義章）



じゅごん茶話会 ひらいています!



こんにちは。

昨年の10月から月2回ぼちぼちと“じゅごん茶話会”を続けています。今年も続けますよ〜。

じゅごん茶話会って何？何をやってるの〜？という皆さまにちょっとご案内します。SDCCは政府交渉、学習会、写真展、街頭行動、現地ツアーと様々な活動をしています。なかなか積極的に参加するのは大変そう…と思っている方も多いはず。そこでもっと気軽に参加できる場を作りたいなと思い、ならばやってみよう！と始めました。

お菓子をつまみお茶を飲みながらわいわいおしゃべりしたり、折り紙を折ったり、作業をしたりしています。“場”をひらいていると新しい出会いがあり私が一番楽しんでいます！周りに広めたいからとリーフレットを取りに来て下さったり、ジュゴンが大好きだと初訪問の方も。

12月26日の茶話会では、仲井真知事にFAXを送りました。「一人ではできなくても一緒だとできるね、話していると元気になるね」と嬉しい声が！一人一人の力は小さくてもつながって積み重なると大きな力になる。

2月は13（木）27（木）にひらきます。辺野古に送るバナーを作ったり、情勢に応じてできることをとい



ろいろ考えています。どうぞ賑やかに遊びに来てください。ジュゴンと一緒にお待ちしています。

（関西 池側恵美子）



★第14回SDCC総会&第3回ジュゴン連続学習会★



3月30日(日) 会場：豊中市立環境交流センター (阪急曽根駅下車北へ徒歩5分)

15時～17時

埋め立てをSTOP! 第14回SDCC総会

- ・2013年度決算・活動報告
- ・2014年度予算案・活動方針案
- ・ジュゴン訴訟の現状(沖縄から国際担当が報告)
- ※参加費無料

13時半～15時(13時開場)

第3回ジュゴン連続学習会「沖縄ジュゴンの棲む海のこと」

- 「辺野古の埋め立てストップ! ジュゴン保護区を」
- ー日本自然保護協会 安部真理子さんのお話しー
- ※資料代：大人1000円 高校生以下500円

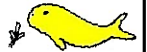
※総会・学習会とも、どなたでもご参加いただけます。予約は不要です。ご参加お待ちしております。

秘密保護法廃止! ロックアクション@関西

秘密保護法が強行可決された6日を毎月「秘密保護法ロックの日(6の日)」として、関西各地でデモ・アクションが行われています。秘密保護法をロック!(lock=鍵をかける、閉じ込める)そして廃止へ。ロックな(rock)アクションを起しましょう。音の鳴るもの、光りものなど、目立ってなんぼ! のグッズを持ち寄って、賑やかにアピールしましょう!

(2月6日は大阪:中之島女神像前 18:30、草津駅東口 14:00 他)

《イベント等参加スケジュール》



【首都圏】

- ※2/1<海の生きものを守るフォーラム>13:00~16:30
- 海の自然保護 最前線! @モンベル品川店 2F 500円
- ※4/19-20 アースデイ東京2014@代々木公園

【関西】

- ※2/8(土) すいた環境フェスタ@夢つながり未来館
- (阪急山田駅下車すぐ) 10:30~15:30

※2/15(土)-16(日)

- 第1回 にじゅうまるプロジェクトパートナーズ会合
- @大阪府立大学 I-site なんば

- ※3/1(土) 第10回京都・環境教育ミーティング
- @龍谷大学・深草キャンパス 9:30~17:00

【沖縄】

- ※2/20(木) 辺野古・違法アセス訴訟 控訴審第2回公判
- 事前集会 13時~ 裁判所向かいの公園
- 公判 14時~ 福岡高等裁判所別荘支部

関西事務所でじゃごん茶話会します♪



ジュゴンのこと基地のことなど楽しくお話ししましょう。
お茶とお菓子を準備して、お待ちしております♪
2/13(木) 27(木) 14時~15時半

- ※時間が変更になっています。ご注意ください
- ※毎月第2、4木曜日に開いています参加費無料です。どなたもお気軽においでください。お問い合わせは関西事務所まで。

カンパありがとうございました!

名護市長選への応援費用(4名の交通費・宿泊費)として使わせていただきました。ご協力に感謝いたします。

11/29に署名提出 12398筆

環境省・防衛省に、埋め立て反対・ジュゴン保護署名12,398筆を提出し、交渉しました。提出後も、署名は継続して集めていますので、今後ともご協力よろしくお願いたします。

Editor's Note 昨年は、「仲井真知事への応援ハガキキャンペーン」に取り組み、計227枚の写真を知事に届けました。ハガキを送ってくださった皆様、ありがとうございました。その思いが届かず、知事が埋め立て承認したことは本当に残念でなりません。一方、名護では稲嶺さんが大勝利。名護市民の勇氣ある選択は、平和で豊かな未来を展望させるもの。今後待ちうける困難にも、希望を持って乗り越え、進んでいくことができます。(山根)

ジュゴンちゃんぶるニュース VOL.72 2014年1月28日発行
ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)
〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町2-2-1
第1千代田ビル301 なかま共同事務所内 TEL/FAX 03-5228-1377
○ <http://www.sdcc.jp/> ○ info@sdcc.jp
(関西連絡先) 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目9番21号野口ビル302
TEL/FAX 06-6353-0514

会費(2000円)&カンパ振り込み先

郵便振替:
加入者名 ジュゴン保護キャンペーンセンター
口座番号 00140-9-660199
他行、コンビニからは: ゆうちょ銀行 ○○八支店
口座番号 普通 8159084

ちゃんぶるニュース購読会員募集中です。年会費2000円で年6回ニュースをお届けします
お問い合わせは、上記事務所まで。ニュース購読で、あなたもジュゴンサポーターに!